



DESCRIPTION

- ・小型でも音質を妥協しないスピーカーシステム
- ・移動用にも固定設備にも対応
- ・円錐100度の指向性を確保
- ・パッシブクロスオーバーを内蔵してアンプ1chでドライブ可能

JF60zは小型で卓越したニアフィールド特定を提供するスピーカーです。ボディからは想像できないほど高い出力と優れた明瞭度を提供し、メインでの音楽再生とBGMのどちらにも対応します。スピーチ再生でも実力を発揮し、大型設備のフィルやディレイスピーカーとしても十分に機能します。他の小型スピーカーとは異なり、JF60zはプロフェッショナルPAユースに求められる強いインパクトと高い解像度を提供。放射角度が広いのでさまざまな用途で容易にカバーエリアを広げることができます。JF60zは数え切れない用途に対応し、さらにサブウーファアを追加することもできます。

ユニットが見えないようグリルにはウレタンフォームを裏貼りし、外観にも配慮しています。アイボルトや金具などを使ってさまざまな状態で設置できるよう天面、底面、側面にマウンティングポイントを装備しました。さらにOmniMount 30.0シリーズや同等品に対応するマウンティングポイント、K&M 195/8またはUltimate BMB-200などのスタンドアダプターにも対応します。標準色は黒で、他の色は受注生産となります。

JF60zはバンドPA、マルチメディアシステム、店舗、プレゼンテーションシステム、ショッピングモール、教育施設、テーマパークなどさまざまなシーンに適しています。またアリーナやスタジアム、コンサートホール、劇場、多目的施設のフィルスピーカーやディレイスピーカーにも最適です。

2ウェイフルレンジ

注釈を最終ページのNOTEでご紹介しています。ご参照ください。

CONFIGURATION

サブシステム		ユニット	音響的負荷
LF	6.5インチコーン×1		密閉
HF	1.3インチドーム×1		ウェーブガイドプレート

動作モード		アンプチャンネル	外付けシグナルプロセッサー
シングルアンプ	LF/ HF		HPF

PERFORMANCE¹

動作帯域	83 Hz ~ 20 kHz
公称放射幅	

水平	100°
垂直	100°

軸上能率(全方向, SPL)		動作帯域
LF/ HF	88 dB	83 Hz ~ 20 kHz

入力インピーダンス(Ω)		公称	最小
LF/ HF	8		7.4 @ 220 Hz

入力タップ(MTバージョンのみ)		70V	100V
LF/ HF	64W/32W/16W		64W/32W

推奨ハイパスフィルター		ハイパス	=>70 Hz, 12 dB/oct	バターワース
アクセラレートライフテスト ²		LF/ HF	40 V	200 W @ 8 ohm

軸上限界出力算出値(全方向, SPL)		平均	ピーク
LF/ HF	111 dB		117 dB

ORDERING DATA

内容	パーツ番号
JF60z 黒	0012618
JF60z 白※	0013768
JF60zMT 70/100Vトランス内蔵モデル 黒※	0013770
JF60z-16 16Ωモデル 黒※	0013794
JF60zPL-WP ウェザープロテクトモデル 黒※	0014359

※は受注生産品

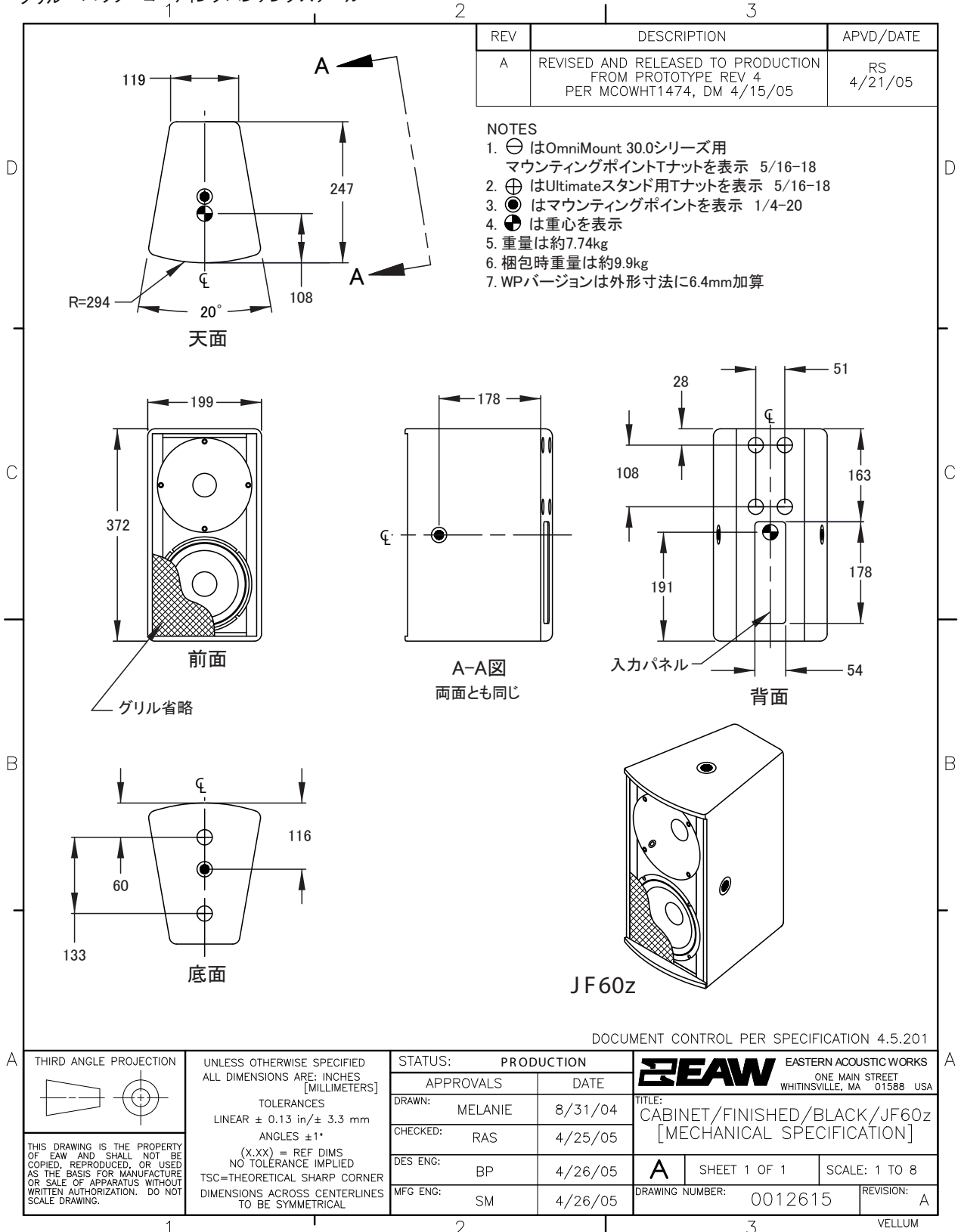
オプション		アイボルト(1/4-20×1インチ)	104009
U型ブラケット 黒			0012360
U型ブラケット 白			0012362
ヨークブラケット 黒			0012388
ヨークブラケット 白			0012393

1 表記された仕様を再現するためには、EAWが提供する設定で外付けシグナルプロセッサーを併用してください。

2 推奨するパワーアンプの出力については、音響特機ウェブサイトの「資料・履歴」にある「スピーカーに対するアンプのパワーはどのくらい必要なのか?」をご参照ください。

ENCLOSURE

材質 パルト海沿岸産樺材合板 (JF60zPL-WPはCeltec)
 仕上げ 耐耗性テクスチャーペイント
 グリル パウダーコーティングパンチングスチール



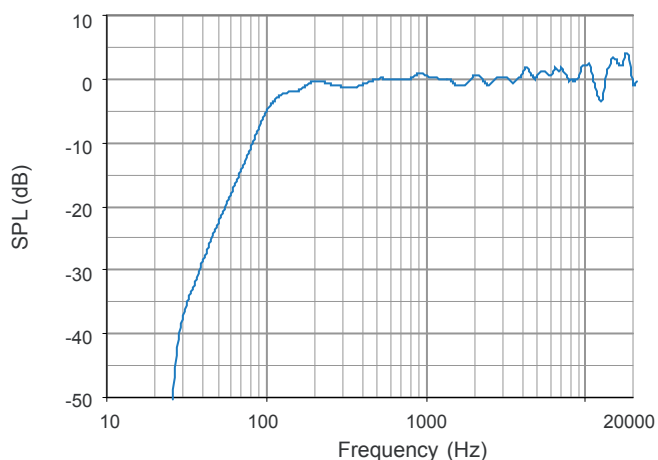
日本語版注釈

- オリジナル図面における誤差は0.13インチ、±1°です。
- 日本語版の図面は長さの単位をmmに換算しています。1インチ=25.4mmとし、換算後小数点第一位で四捨五入してあります。
- 日本語で表記した重量は1ポンド=450gで換算しています。

PERFORMANCE DATA 注釈は最終ページ目の「NOTES」をご参照ください。

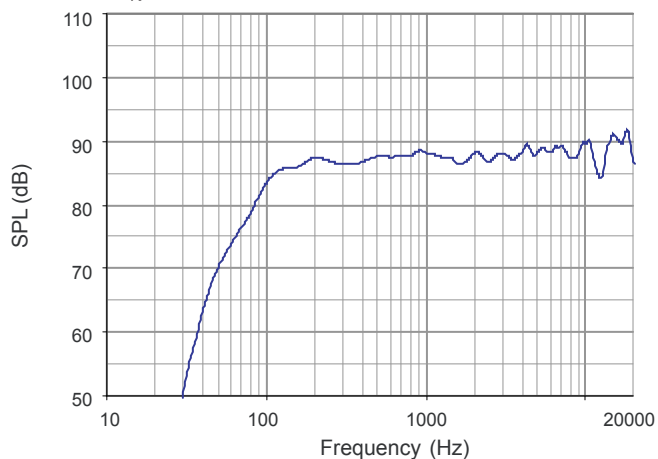
周波数特性: HPF適用済み

LF/HF=青



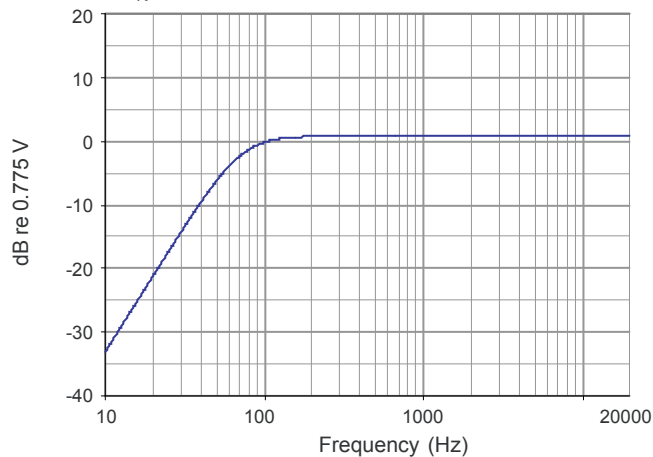
周波数特性: プロセッシングしていない場合

LF/HF=青



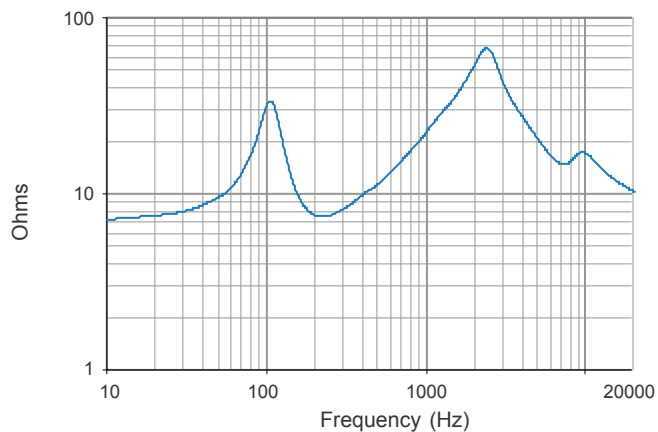
周波数特性: 推奨ハイパスフィルター

LF/HF=青



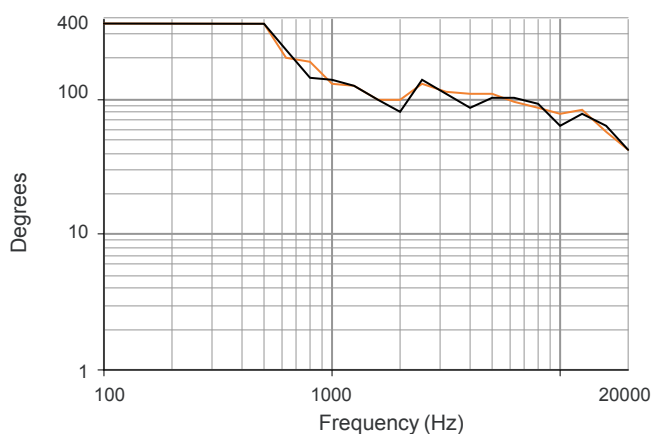
インピーダンス特性

LFHF=青



放射幅(-6dB SPLポイント)

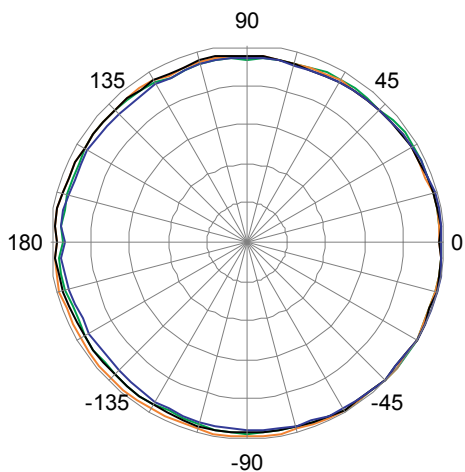
水平=橙 垂直=黒



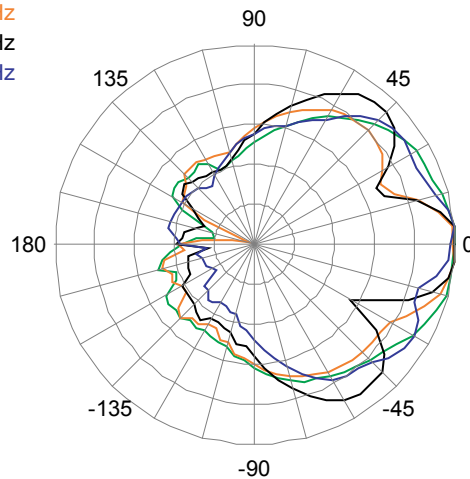
POLAR DATA 2 垂直ポーラデータ グリッド: 軸=6dB, ラジアル=15度

注釈は最終ページ目の「NOTES」をご参照ください。

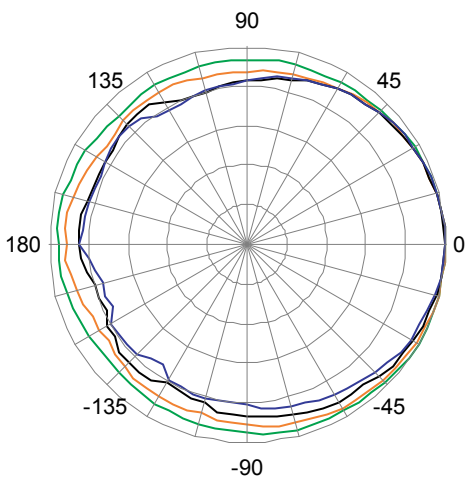
100 Hz
125 Hz
160 Hz
200 Hz



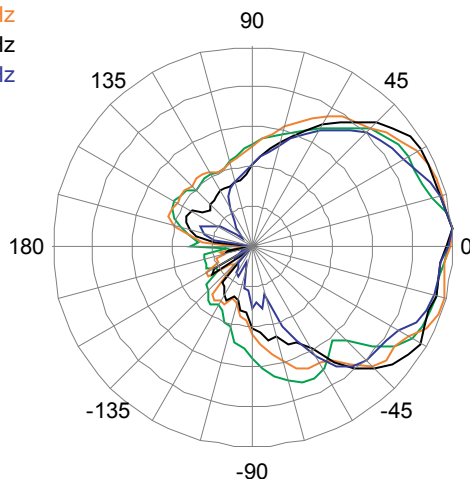
1600 Hz
2000 Hz
2500 Hz
3150 Hz



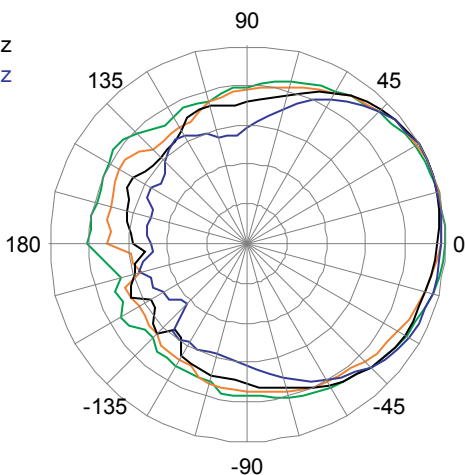
250 Hz
315 Hz
400 Hz
500 Hz



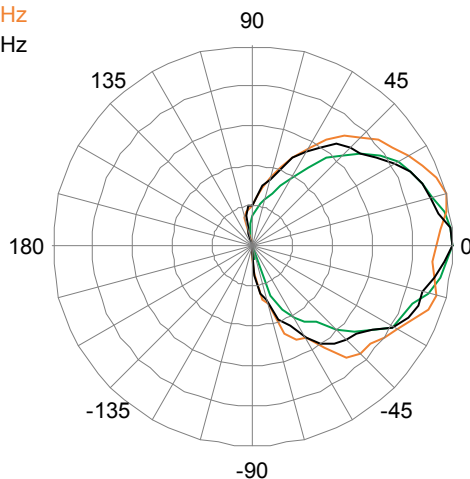
4000 Hz
5000 Hz
6300 Hz
8000 Hz



630 Hz
800 Hz
1000 Hz
1250 Hz



10000 Hz
12000 Hz
16000 Hz

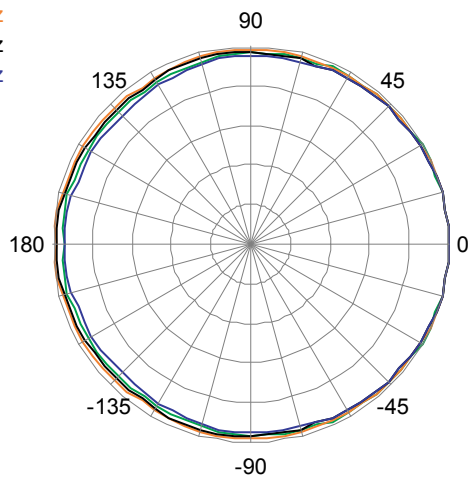


POLAR DATA 1 水平ポーラデータ

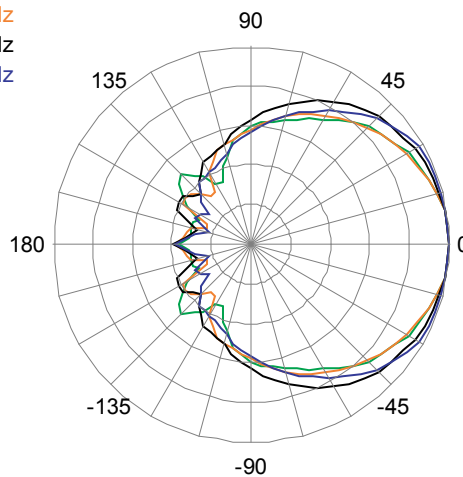
グリッド: 軸=6dB, ラジアル=15度

注釈は最終ページ目の「NOTES」をご参照ください。

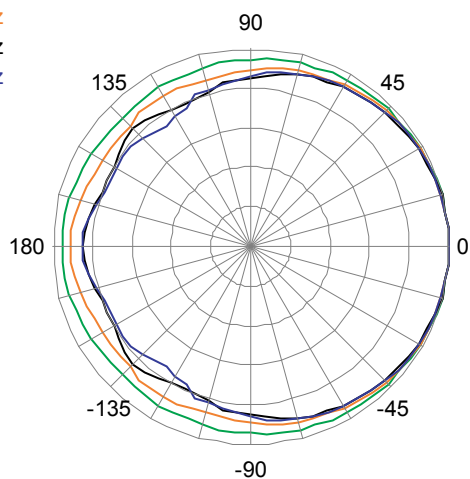
100 Hz
125 Hz
160 Hz
200 Hz



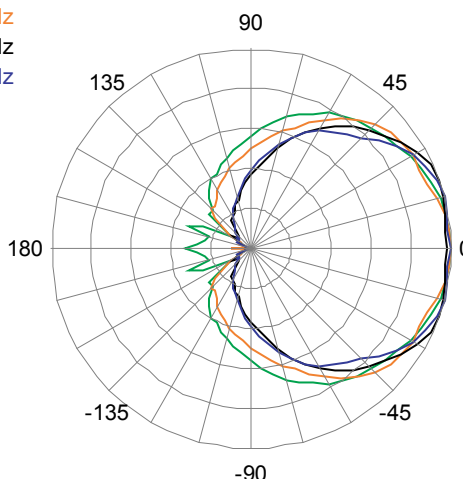
1600 Hz
2000 Hz
2500 Hz
3150 Hz



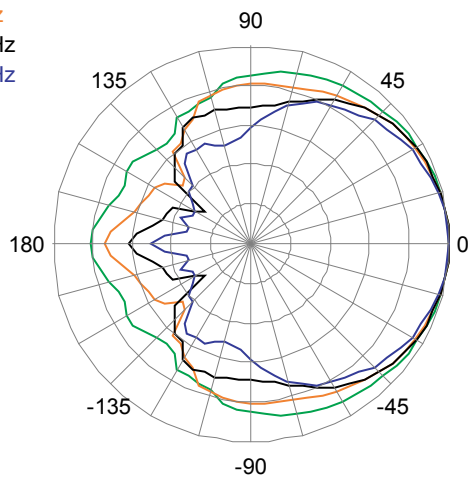
250 Hz
315 Hz
400 Hz
500 Hz



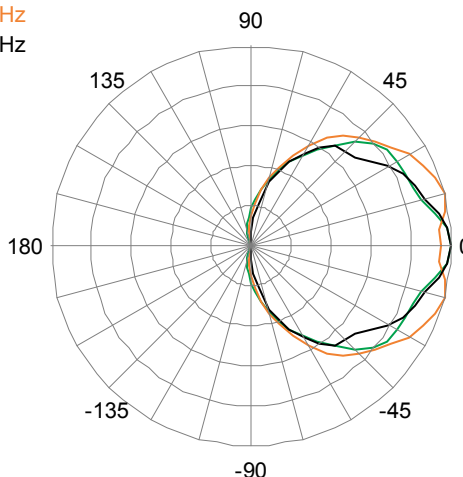
4000 Hz
5000 Hz
6300 Hz
8000 Hz



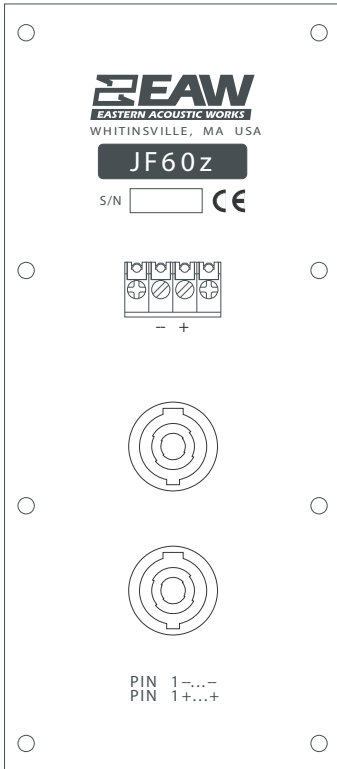
630 Hz
800 Hz
1000 Hz
1250 Hz



10000 Hz
12000 Hz
16000 Hz

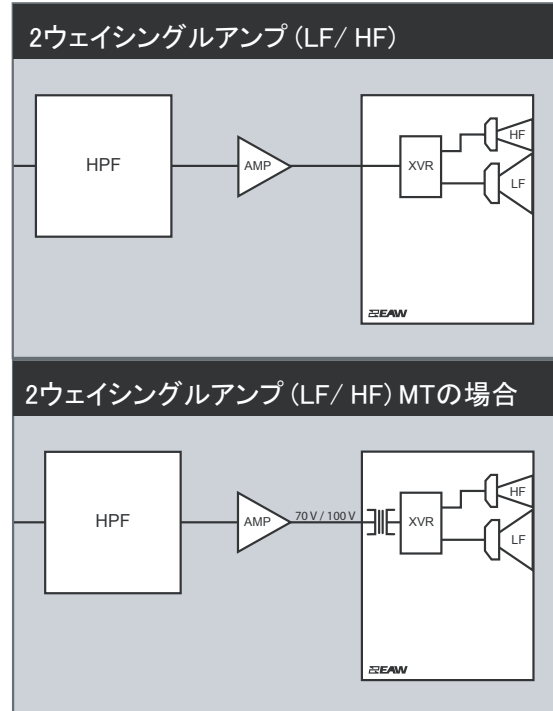


INPUT PANEL



MTバージョンの背面パネル図はございません。

SIGNAL DIAGRAM



LEGEND

- DSP: デジタルシグナルプロセッサをご用意ください。
- HPF: クロスオーバー用、あるいは推奨値に設定してください。
- LPF: クロスオーバー用ローパスフィルターです。
- LF/MF/HF: LFは低域、MFは中域、HFは高域を表します。
- AMP: 適切なパワーアンプをご用意ください。
- XVR: パッシブのLPF、HPF、EQはスピーカーに内蔵されています。

NOTES

表組みデータについて

- 主要測定/データプロセッシングシステム…F-Chart (EAW専用ソフトウェア)
- 二次的測定システム…B&K 2012
- マイクロフォンシステム…Earthworks M30; B&K 4133
- 測定…デュアルチャンネルFFT FFT長:32768サンプル サンプリング周波数:48kHz 対数サインウェーブスイープ
- 測定システムの品質(不明分含む)…SPL:正確度±0.2dB@1kHz, 精度:±0.5dB(20Hz~20kHz), 分解能:0.05dB 周波数:正確度:±1%, 精度:±0.1Hz, 分解能:1.5Hzまたは1/48oct以上 時間:正確度:±10.4μs, 精度:±0.5μs, 分解能:10.4μs 角度:正確度±1度, 精度:±1度, 分解能1度
- 環境…時間窓による測定 測定スペースの影響をプロセッシング時に排除しほぼ無響室をシミュレート 無響室/分数スペース等実際のデータ処理は併記の通り
- 測定距離…7.46m 音響特性は20mでのサブシステムのパワーを位相振幅合成で算出して表示 逆二乗則を適用して他距離のSPLを算出
- V(ボルト)…テスト信号のrms値を測定
- W(ワット)…プロオーディオ業界における「スピーカーのW」は因習的に電圧の2乗を定格公称インピーダンスで除算するため、国際的な基準で定義されたエネルギーとしてのWという真の単位は存在しないものとした
- SPL(音圧レベル)…信号の平均レベル相当 0dB SPL=20μPa
- サブシステム…各通過帯域のユニット及びその音響的負荷 Sub=サブウーファー LF=低域 MF=中域 HF=高域
- 動作モード…選択可能なコンフィギュレーション サブシステム同士がコマ(,)で区切られている場合=アンプチャンネルは別 サブシステム同士がスラッシュ(/)で区切られている場合=単一アンプチャンネル DSP=デジタルシグナルプロセッサ ※重要※表記された仕様を実現するためにはEAW提供の設定による外付けデジタルシグナルプロセッサの併用が必要
- 動作帯域…プロセッシングされた周波数特性で平均出力音圧レベルから-10dB SPL以内の数値 幾何学的な軸上で測定 狭い帯域でのディップを除く
- 公称放射幅…0dB SPLを最高レベルとしたとき-6dB SPLのポイントで設定
- 軸上能率…公称インピーダンスで1Wを出力する入力電圧を供給したときの動作帯域における平均出力音圧レベル 外部プロセッサなしで測定 距離1m
- 公称インピーダンス…4, 8, 16Ωの抵抗を選択 最小インピーダンスポイントは動作範囲内でこの値を20%以上下回らない
- アクセラレートライフテスト…EIA-426Bで定義されたスペクトルを供給した際の最大テスト入力電圧 推奨シグナルプロセッシング/プロテクトフィルターを併用して測定
- 軸上限出力算出値…アクセラレートライフテスト中に実現可能な平均音圧レベルの最高値とピーク音圧レベル ピークSPLはライフテスト信号が持つ2:1(6dB)のクロストファクターを反映
- 推奨ハイパスフィルター…動作範囲以下の極端な入力信号レベルからユニットを保護するために使用

グラフデータについて

- 解像度…重要性の低い細部を除去 音響的周波数特性は1/12octのケプストラムで平滑化 放射幅とインピーダンスは1/3octのケプストラムで平滑化 他は未処理
- 周波数特性…周波数ごとの音響出力の変動を表示 入力信号は一定で公称インピーダンス4Ωの場合2V, 公称インピーダンス8Ωの場合2.83V, 公称インピーダンス16Ωの場合4V 距離1m プロセッサ併用データの場合プロセッサのゲインは0dBで統一
- プロセッサの特性…0.775V=0dBの一定した入力信号に対する周波数ごとの出力レベルの変動を表示
- 放射幅…1/3octごとの平均角度 スピーカー背面からスタートして0dB SPLを最高レベルとしたときに出力が最初に-6dB SPLに到達するポイント 出力が-6dB SPL以下になる場合も含む 距離20m
- インピーダンス…インピーダンスの変動をΩで表示 対周波数で表示し電圧/電流の位相は参照しない インピーダンス値は真のW(上記参照)の算出には使用しないものと思われる
- ポーラデータ…水平・垂直のポーラは100Hzから16kHzまであるいは動作帯域で1/3octごとの特性を表示



★製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

Part Number : RD0287(A)-J JF60z SPEC Jun. 2005